

株主通信

2010年4月1日～2011年3月31日

経営理念

創業者・稲畑 勝太郎 著
「欧亜に使用して」より

TOPICS

国際医薬品原料・中間体展

第2回国際二次電池展

FOODEX JAPAN 2011

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の2011年3月期における事業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、3月11日に発生した東日本大震災で犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された地域の日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、当期の日本経済は、企業収益が改善へと転じ、設備投資も増加傾向を見せるなど、緩やかながらも回復の兆しが現れました。また、内需が好調な中国などを中心とするアジア向けの輸出も、拡大基調となりました。

こうした中、当社の事業におきましても、主力の情報電子事業や合成樹脂事業を中心に収益が回復し、連結ベースでの売上高は対前期比14.2%増の4,690億9千万円となりました。利益面では、営業利益は同43.4%増の79億円、経常利益は同73.5%増の84億8千1百万円となりました。当期純利益は同310.5%増の72億3千2百万円でした。

今後の経営環境は、中国をはじめとする新興国や欧米など先進国の景気動向、また日本国内においては震災の影響など、不透明な状況が継続するものと予想されます。

このような中、当社といたしましては、中国・アジア、新興国など伸びゆく市場への一層の経営資源の投入、環境・エネルギーほか重点事業の育成・強化、グローバル人材の育成、厳選した投資、資金効率の追求などを骨子とした3カ年の中期経営計画「IK2013」を策定いたしました。全社一丸となって目標の達成に取り組んでまいります。

当社は当期、おかげさまで創業120周年を迎えました。創業以来の社是ともいえる「愛」「敬」という人間尊重の精神に基づき、社会の発展に貢献することを経営理念として掲げ、皆様に信頼され、一層お役に立てる存在になるべく全力を尽くしてまいりたいと存じます。

どうか今後とも、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2011年6月



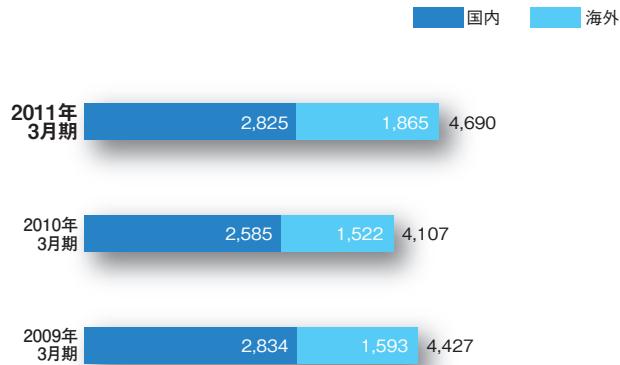
代表取締役社長

西村 稯 勝 々 郎

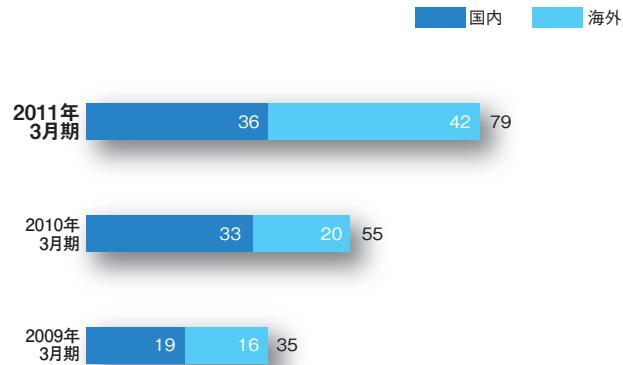
ファイナンシャル ハイライト(連結)

(注)記載金額は億円未満、百万円未満を切り捨てて表示しております。

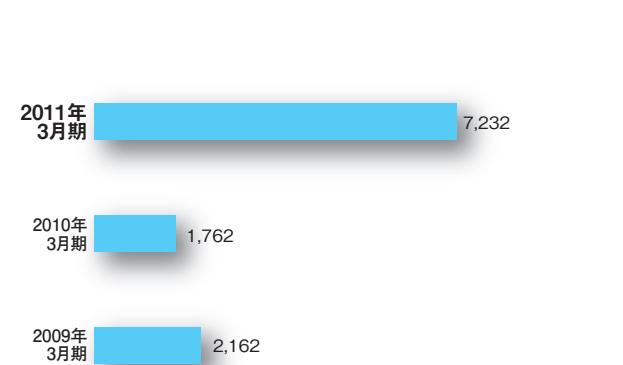
売上高 (単位:億円)



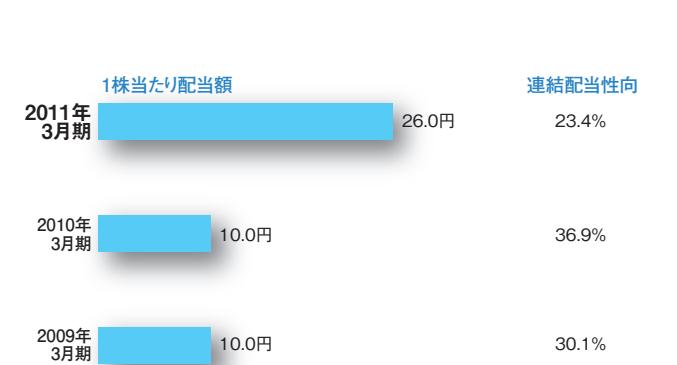
営業利益 (単位:億円)



当期純利益 (単位:百万円)



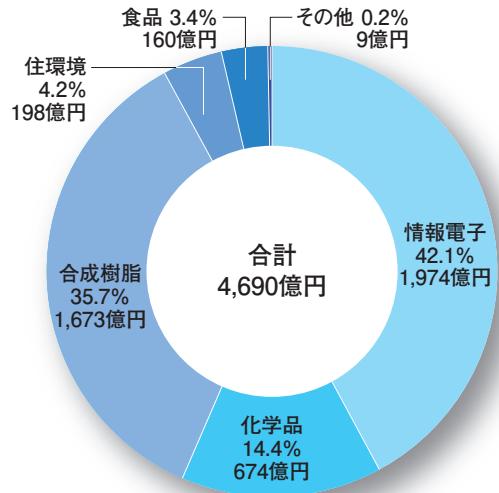
1株当たり配当額と連結配当性向



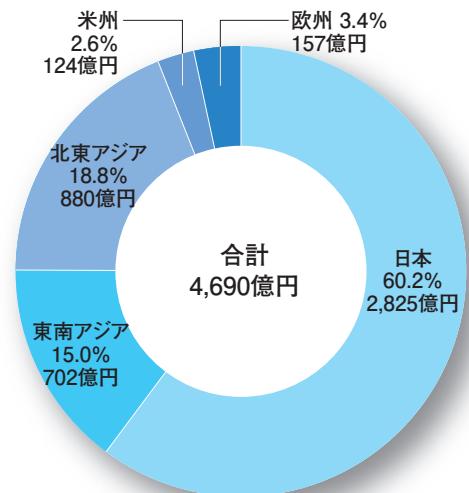
(注)連結営業利益と国内・海外の営業利益の合計との差は連結会計上の消去によるものです。

(注)2011年3月期の期末配当金には、「創業120周年記念配当」2円を含んでおります。

事業区分別売上高・構成比 (2011年3月期)



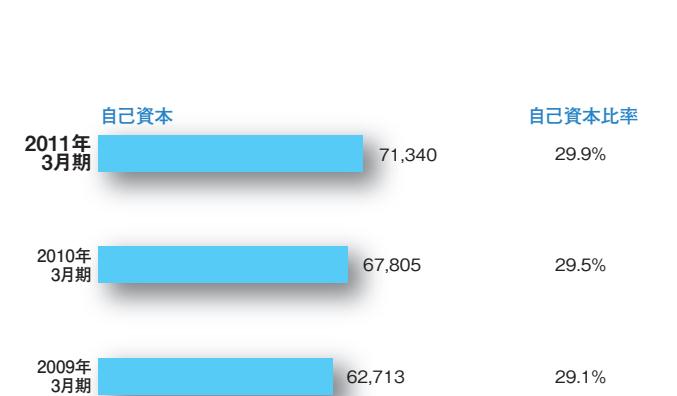
所在地別売上高・構成比 (2011年3月期)



純資産と総資産 (単位:億円)



自己資本と自己資本比率 (単位:百万円)



会社情報

役員	(2011年6月24日現在)			
代表取締役社長 社長執行役員	稲畑 勝太郎	執行役員	タイ総支配人	岩上 潤
代表取締役 専務執行役員	情報画像本部担当・電子機能材本部担当・ 化学品本部担当	執行役員	コンパウンド統括室長	尾崎 一郎
代表取締役 専務執行役員	経営企画室担当・情報システム室担当・ 財務経営管理室担当・業務管理室担当・ 人事総務室担当・リスク管理室担当・ 東京本社担当・情報システム室長	執行役員	NCプロジェクト統括	上杉 隆
取締役 常務執行役員	海外事業担当・コンパウンド統括室担当	執行役員	合成樹脂第一本部長	望月 卓
取締役 常務執行役員	合成樹脂第一本部長担当・合成樹脂第二本部長担当・ 住環境本部担当・食品本部担当	執行役員	合成樹脂第二本部長	杉山 勝浩
取締役 執行役員	経営企画室長			菅沼 利之
取締役 執行役員	財務経営管理室長・経営企画室副室長			横田 健一
取締役 執行役員	情報画像本部長・電子機能材本部長			赤尾 豊弘
取締役	(住友化学株式会社 顧問)			亀井 康夫
取締役相談役				稲畑 勝雄
常勤監査役				佐藤 精一
監査役				越智 豊
監査役				井原 實
監査役				鈴木 修一

(注)1.取締役 亀井康夫は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2.監査役 井原實及び鈴木修一は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3.当社は、監査役 井原實及び鈴木修一を東京証券取引所及び大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届出ております。

会社の概要 (2011年3月31日現在)

会社名 ● 稲畑産業株式会社
創業年月日 ● 1890年10月1日
設立年月日 ● 1918年6月10日
資本金 ● 93億6千4百万円
従業員数 ● 550名(グループ会社への出向者を含む)
〔連結:3,828名〕

大阪本社 ● 大阪市中央区南船場一丁目15番14号
東京本社 ● 東京都中央区日本橋本町二丁目8番2号
名古屋支店 ● 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号
営業所 ● 松本営業所、三重営業所
九州営業所(霧島市)

株式情報 (2011年3月31日現在)

【発行可能株式総数】 200,000,000株
【発行済株式の総数】 65,159,227株
【株主数】 6,029名
【大株主の状況】

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
住友化学株式会社	13,836	21.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,336	5.1
JP MORGAN CHASE BANK 385093	2,050	3.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,748	2.7
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	1,736	2.7
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,195	1.8
稲畑 勝雄	1,153	1.8
株式会社みずほ銀行	1,114	1.7
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	1,012	1.6
丸石化学品株式会社	961	1.5

(注)1.持株比率は自己株式数(69,185株)を控除して計算しております。
2.「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」は、株式会社みずほ銀行が所有していた当社株式を退職給付信託として委託した信託財産であり、議決権については株式会社みずほ銀行の指図により行使されることになっております。
3.上記株主の英文名は、株式会社証券保管振替機構から通知された「総株主通知」に基づき記載しております。

株主メモ

事業年度 ● 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 ● 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。

定時株主総会 ● 毎年6月開催
上場証券取引所 ● 東京・大阪証券取引所 市場第1部
証券コード ● 8098
単元株式数 ● 100株
公告の方法 ● 電子公告 当社のホームページに掲載します。
http://www.inabata.co.jp/koukoku
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

会計監査人 ● 大阪市中央区瓦町三丁目6番5号
銀泉備後町ビル 有限責任 あずさ監査法人

株主名簿管理人及び
特別口座管理機関 ● 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 ● 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) ● 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ● ☎0120-176-417
(ホームページURL) ● http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/
retail/service/daiko/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。

【特別口座について】
株券電子化前にはふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

【社 是】
愛 敬

【経営理念 Mission】

「愛」「敬」の精神に基づき、
人を尊重し、社会の発展に貢献する

【目指す姿 Vision】

時代とともに変化する顧客と社会のニーズに応え、
グローバルに事業を展開することにより、
価値ある存在として常に進化を続ける

【価値観 IK Values】

- ・ 謙虚さと誠実さを基本とする (倫理観)
- ・ 高い理想、大きな夢、熱い心を持って
常に限界に挑戦する (志)
- ・ 自由闊達な議論とチームワークを重んじ、
社員の成長を大切にする (組織風土)
- ・ 顧客の問題を顧客の立場から解決し、
顧客のベストパートナーとなる (機能)
- ・ 世界の人々と価値を共有し、
そこに暮らす人々と共に発展する (共生)

2009年10月、当社では自らの企業価値を見つめ10年先の企業像を描こうと
いう「2020プロジェクト」(リーダー:取締役執行役員 菅沼利之)を立ち上げました。
約半年に及ぶ同プロジェクトでの議論を基に、創業120周年の2010年10月、
「社是」「経営理念:Mission」「目指す姿:Vision」「価値観:IK Values」を
新たに制定いたしました。

社是の「愛」「敬」は、創業以来受け継がれてきた創業者の精神です。経営理念
(Mission)は企業としての存在意義を、目指す姿(Vision)は長期的視点に
おける弊社の在り方を示したものです。価値観(Value)は稲畑グループで働く
全ての社員が互いに誓い合い、日々の行動基準となるものです。

これに伴い「人と人をつなぐ、あなたのベストパートナーでありたい」という
新たなコーポレート・スローガンも作成、企業広告のデザインも一新いたしました
(本誌裏表紙参照)。

今後とも皆様に信頼され、一層お役に立たせていただける存在になれますよう、
全力を尽くしてまいります。



「2020プロジェクト」の検討風景



「愛敬」創業者・稲畑勝太郎の書(龍峯:創業者の雅号)

稲畑 勝太郎 著
「欧亜に使用して」より

稲畑産業の創業者・稲畑勝太郎は大正15年12月、仏領インドシナ訪問、第10回国際労働総会（於ジュネーブ）への出席、さらに日本経済の海外展開の可能性を探るべく約8ヶ月間の外遊に出発しました。後に外遊中の手記を「欧亜に使用して」として出版、天皇皇后両陛下にも献上されました。ここでは、創業者の足跡をたどりながらその一節をご紹介します。



創業者
稲畑 勝太郎



1930年当時のブリュッセルの中心地、グランプラスの様子。

白耳義（ベルギー）国王に謁見
ジュネーブの国際労働総会が終わったので、一先ず巴里（パリ）へ帰り、六月二十八日、パリを立って、ベルギーの首府ブリュッセルに向かった。この時の列車は、プルマンカーと言って、一日一回、パリ―ブリュッセル間を往復する列車で、その名に負わず、設備万端、至れり尽くせりで、食事さえもその座席へ持ち運んで来たと言った調子である。ブリュッセル着後、直ぐにブルバールミリートールに在る日本大使館を訪れ、安達大使に案内されて、自動車で宮殿に向かい、国王アルベール殿下に拝謁した。

昭和二年 於ブリュッセル
（本文より抜粋。仮名遣いなどは現代語に改めております）

Inabataとベルギー

創業以来の最初の海外拠点は、1937年ベルギー王国の首都ブリュッセルに開設された出張所でしたが、第二次世界大戦で閉鎖しました。

そして1988年、同地に現地法人Inabata Europe S.A.が設立され、ヨーロッパの主要な拠点となりました。

現在、化学品、電子材料などの輸出入販売を行い、事業を拡大しています。



Inabata Europe S.A.が入居するビル

同広場で、2年毎に行われるイベント「フラワーカーペット」。写真は、2010年8月に行われたもの。



T O P I C S

「国際医薬品原料・中間体展」
（パリ郊外・ノール見本市会場）

グループ会社、Inabata France S.A.S.（仏・化学品輸出入販売）とPharmasynthese S.A.S.（仏・精密化学品製造）は、2010年10月5日～7日に開催された「国際医薬品原料・中間体展」に共同出展しました。同展示会は、業界有数のトレードショーで、取引先と最新技術や市場の情報交換などを行いました。



「第2回国際二次電池展／
バッテリー・ジャパン」
（東京ビッグサイト）

電子機能材本部は、2011年3月2日～4日に開催された「第2回国際二次電池展／バッテリー・ジャパン」に、韓国GS Caltex Corp.（本社：大韓民国ソウル市）と共同出展しました。同展示会は、世界最大級の二次電池に関する国際商談・展示会で、当社共同出展ブースでは、同社の厚さ約0.06mmの薄膜リチウムイオン二次電池を展示しました。



「FOODEX JAPAN 2011／
第36回国際食品・飲料展」
（幕張メッセ）

グループ会社、Inabata America Corp.（米ニューヨーク市・化学品、電子材料、食品原料、合成樹脂等輸出入販売）は、3月1日～4日に開催された「FOODEX JAPAN 2011／第36回国際食品・飲料展」に出展しました。同展示会は、食品のバイヤー・専門家が集うアジア最大級の食品・飲料専門展示会で、当社ブランドの「inaFRESH」ブルーベリーを紹介しました。これは、北米・南米の契約農場で栽培された安全で高品質なブルーベリーです。





人と人をつなぐ、 あなたのベストパートナーでありたい。

稲畑産業は情報電子、化学品、合成樹脂、住環境、食品、といった事業分野で常に斬新なソリューションやサービスを追求しています。

1890年の創業以来、高度な専門知識やノウハウに基づくビジネスプランニング、マーケティング、製造や物流を通し、幅広いニーズに応えるべく努力を続けてきました。

今後とも皆様に信頼され、
一層お役に立たせていただける
パートナーでありたいと願っています。

IK INABATA & CO., LTD.

www.inabata.co.jp